

日本共産党
宇都宮市
議員団

あなたの声を市政に
ほっとらいん

6月議会報告
第72号

発行
日本共産党宇都宮市議員団
宇都宮市旭1丁目1-5
電話 632-2622
FAX 632-7753

市民の切実な願い届け！

天谷みえ子
議員が初質問



一般質問する天谷議員

天谷みえ子議員 家計消費は世帯あたり年25万円も落ち込み、働く人の実質賃金は年平均10万円も落ち込んでいる。このまま消費税10%への増税が10月から行われると家計には大きな負担になる。日本共産党第6回中央委員会総会が緊急の課題として発表した「暮らしに希望を」三つの提案は、消費税に頼らずに7.5兆円の財源を生み出し、「①1日8時間働けばいい」

佐藤栄一市長 市民生活への影響については「幼児教育・保育の無償化や高等教育の無償化」の実施「年金生活者支援給付金の支給」等により子育て世帯や低所得の高齢者などの負担が軽減されるものと考えている。「公共施設の使用料」については消費税率の引き上げ時期にあわせ、適切に料金改定を実施してきたところであり、今回も同様の対応としている。

2019年6月議会では天谷みえ子議員が一般質問にたちました。市長の政治姿勢については消費税10%への増税が市民に与える影響が懸念される今、公共施設使用料の値上げはすべきではないとせまりました。またLRTや北西部地域の図書館設置など市民の声を代弁して初質問を行いました。紙面の都合で一部をご紹介します。（要旨）

つうに暮らせる社会をつくること。②暮らしを支える社会保障を築くこと。③お金の心配なく学び、子育てができる社会をつくること。」を提案している。市長は増税が市民生活に与える影響をどう考えているのか。

今回の議案に公共施設の使用料の値上げ案が盛り込まれているが、今の時点での使用料値上げは見送るべきではないか。

**消費増税前提の施設使用料
値上げは中止を！**

菊地康夫教育次長 現時点では計画していないが今後とも既存のネットワークにより生涯学習センター図書室を有効に活用しながら身近な図書館としてのサービス提供に努める。

天谷みえ子議員 市民にとって図書館とは人類の叡智の宝庫である。地域の情報拠点としての機能、子どもたちや家族連れが読書に親しむ空間、調べものの役立つ地域の知の拠点、市民が集い交流の輪が広がる拠点、文化芸術の場として市民が集うことのできる図書館は北西部地域にはない。大型開発よりもよりよいこうしたところこそ税金を使ってほしいというのが市民の願いであるが市長の考えを問う。

北西部地域への図書館設置を！



ショートステイに入れない？特養ベッドへの転換はやめるべき!!

掲載できなかった項目

- * 国民健康保険について
- * LRTについて
- * 包括支援センターについて
- * 生活交通の確保について

天谷みえ子議員 特別養護老人ホームのショートステイではベッドを減らし特別養護老人ホームへの転換を行っていることがはっきりした。地域の居宅支援事業所から、これまでのようにショートステイを取れなくて困っているという相談があり調べた結果「にっこり安心プラン」に盛り込まれている計画に沿った実施であるとのこと。現場では家族もケアマネージャーも大変な思いをしているのが実態。ショートステイのベッドからの転換をすべきではないと思うが、2018年度はすでに65床の転換を実施している。計画では85床を予定しているが今年度残り20床を転換しようとしているのかを問う。

緒方秀徳保健福祉部長 ショートステイのニーズを満たすとともに、転換の意向のあった特別養護老人ホームに併設するショートステイ事業所ごとの稼働率を確認し、床数に余裕がある事業所を選定したうえで、支障のない範囲として、85床を転換することとしたものであり残り20床も本年度中に転換する予定としている。

天谷議員再質問 介護度が中・重度になれば訪問看護やショートステイの利用者割合が増加し、在宅医療とレスパイトサービスの需要が高まる。在宅で介護されているご家族にとっては、ショートステイが頼みの綱である。しかも使い慣れた事業所をお願いするのが家族・本人の希望である。利用率から考えると問題ないということであったが、転換したベッドに地域的偏りはなかったのか。

緒方保健福祉部長 手元にちよつと資料がないが稼働率が低いところについて、転換をしたというところなので支障がないように配慮しながらの実行である。

1. 短期入所生活介護（ショートステイ）定員			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
短期入所定員	499	549	491
※定員は年度末（3月31日時点）			
2. 短期入所生活介護（ショートステイ）利用率			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
定員×年間日数	186,601	191,495	190,345
利用日数	126,703	128,386	130,313
利用率（%）	67.90	67.04	68.46
※介護給付費実績から集計			

民意のないLRT事業への更なる予算投入に反対

〈市民サービス充実に転換せよ〉原ちづる議員が反対討論(要旨)



反対討論をする原ちづる議員

理由2
LRT事業は市議員団が行ったアンケートなどからも、

理由1
自民・公明の安倍政権のもとで国民・市民の貧困と格差が広がり、安心して暮らせる希望ある社会保障には程遠いと言わざるを得ない状況となっている。このような状況の中、大多数の宇都宮市民の願いは、市民サービスの充実である。今回の補正予算案も可能な限りここにつなげるべきであり、国保の「均等割り」の減免による子育て支援、生活保護や低所得の家庭へのエアコン設置の緊急支援、高齢者への熱中症対策等に補正予算を振り向けることが重要である。

理由1
自民・公明の安倍政権のもとで国民・市民の貧困と格差が広がり、安心して暮らせる希望ある社会保障には程遠いと言わざるを得ない状況となっている。このような状況の中、大多数の宇都宮市民の願いは、市民サービスの充実である。今回の補正予算案も可能な限りここにつなげるべきであり、国保の「均等割り」の減免による子育て支援、生活保護や低所得の家庭へのエアコン設置の緊急支援、高齢者への熱中症対策等に補正予算を振り向けることが重要である。

理由1
自民・公明の安倍政権のもとで国民・市民の貧困と格差が広がり、安心して暮らせる希望ある社会保障には程遠いと言わざるを得ない状況となっている。このような状況の中、大多数の宇都宮市民の願いは、市民サービスの充実である。今回の補正予算案も可能な限りここにつなげるべきであり、国保の「均等割り」の減免による子育て支援、生活保護や低所得の家庭へのエアコン設置の緊急支援、高齢者への熱中症対策等に補正予算を振り向けることが重要である。

6月議会の閉会日に原ちづる議員は、日本共産党宇都宮市議員団を代表して、議案第69号「2019年度宇都宮市一般会計補正予算」と、第75号「消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定」について反対する討論を行いました。

市民合意を得ているとはいえない。急ぐ必要のないムリ・ムダなLRT計画に補正により7億円の税金を使うよりも、地域内交通の抜本的改善等、バス公共交通の利便性の向上に優先して財源を投入すべきではない。

理由1
市民への更なる負担増は避けるべき

議案第75号に反対の理由
市民への更なる負担増は避けるべき

理由2
この条例改正提案は時期尚早である。消費税増税の行方と施設使用料の値上げを決定するのはいかなるものか。どうしても条例改正が必要であれば、臨時議会でも対応することも可能である。

理由2
この条例改正提案は時期尚早である。消費税増税の行方と施設使用料の値上げを決定するのはいかなるものか。どうしても条例改正が必要であれば、臨時議会でも対応することも可能である。

理由1
そもそも2014年の消費税8%への増税を契機に家計消費が世帯当たり年25万円も、実質賃金が年平均10万円も落ち込んでいる。このような経済情勢で更に消費税が増税されること自体、市民の暮らしの負担は相当なものであると予想できる。市民が健康で文化的な生活を送るために利用している公共施設の使用料の値上げは、市民にとってさらにマイナスの影響が大きいと考えられる。

福田議員が在職20年表彰



— 全国市議会議長会 —

あっという間のそして無我夢中の20年でした。これからも初心に立ち返り、みなさんの声に真摯に耳を傾け期待に応えられるよう頑張りたいと思います。

福田くみ子談

新しくなった日本共産党宇都宮市議員団

4月の市議選挙で、日本共産党は3議席に躍進、市民のみなさんの声を届ける力がパワーアップしました。

所属委員会等

福田くみ子議員 (議員団団長)

*文教・消防・水道常任委員会副委員長
*議会制度検討会委員
*保健衛生審議会委員

天谷みえ子議員 (議員団幹事長)

*厚生常任委員会委員
*議会運営委員会委員
*国民健康保険運営協議会委員
*地産地消推進会議委員
*次世代技術を生かしたまちづくり調査特別委員会委員

原ちづる議員 (議員団政調会長)

*環境・経済常任委員会委員
*広報広聴委員会委員
*食育推進会議委員
*誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくり調査特別委員会
*ICT導入検討委員会

スポット
ライト

命守る熱中症対策 早急に!

5月の猛暑かと思えば、長すぎる梅雨と異常気象が続いています。党市議員団では、昨年に続き今年も熱中症対策を前進させる必要があると、早々に申し入れを行いました。

申し入れは、市民への啓発、高齢者の見守り・安否確認、生保・低所得者へのエアコン設置支援、小中学校の体育館へのエアコン設置、夏休みの子どもの家での暑さ対策など7項目。

どれも共産党議員団は一般質問などで取り上げてきましたが、新しくなった議会では、自民党議員会の議員が小中学校体育館へのエアコン設置について質問、前向きな答弁を引き出しています。

命守る熱中症対策は、党派の垣根も越えて後押しし、早急に進めてほしいものです。

定例無料 市政・法律なんでも相談会

■9月14日(土) 総合福祉センター 7F

■10月12日(土) 市総合コミュニティセンター会議室

※時間は午後2時～4時

※弁護士が協力します。プライバシー厳守

※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。

日本共産党宇都宮市議員団

電話 632-2622 FAX 632-7753

電話 634-8722 (休日夜間など)

市民の皆さんへ

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほっとらいん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆さんのご意見、ご要望等どしどしお寄せ下さい。

私は、「市民こそ主人公」「憲法が花開く市政」をめざして、代表、一般質問47回、討論43回、LRT質疑1回の登壇で市民の声を届け、政策提言・市政監視を行ってきました。また、36年間の市民相談活動などを通じて市民の命と暮らしを守るために

前宇都宮市議会議員
荒川恒男

荒川議員が勇退

多くの市民の皆様と家族に支えられて、6期24年にわたり市議会議員として全うできました。心から感謝と御礼を申し上げます。日本共産党宇都宮市議員団が念願の3議席を実現して、勇退できることはこの上ない幸せです。

がんばって来ました。これからは、党市議員団の活動をしっかりと見守りつつ、社会保障を守り充実に向けた運動や市民合意無視・むり・ムダなLRT建設計画を許さない市民運動に取り組みたいと思います。同時に、日本国憲法と共に生まれ育って来た世代の一人として、世界の宝、日本の宝である憲法9条を守りぬき、子や孫の世代に受け継ぐたにかに邁進してまいります。まだまだこれから先もわくわく人生は続きそうです。